

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	食生活改善事業		担当部署	健康福祉部 健康づくり課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	食育基本法、健康増進法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 17 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると		終期	未定
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	1	健康増進計画「健康なると21」の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	生活習慣の改善や食育の推進を図るため、食生活改善推進員(ヘルスマイト)の養成や育成、食育推進事業を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		ヘルスマイトの人数	30	30	30	30	30	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	食生活改善推進員(ヘルスマイト)の養成を行うと共に、ヘルスマイトとして活動している市民の育成・支援を実施した。また市民を対象とした体験学習として「地産地消」をテーマに「れんこん」のワークショップを行う等地元食材に興味を持ってもらうとともに、食生活に対して興味や関心を深め、適正な食習慣の確立ができるように支援を行った。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ヘルスマイトの地域での活動回数	14	10	10	10	10	回
	2	ヘルスマイトの人数	26	39	30	30	30	人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	ヘルスマイトの人数		26	39	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			130.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)		128	122	113	113	113	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	21	21	20	20	20	
	一般財源	107	101	93	93	93	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		4,690	4,684	4,675	4,675	4,675	千円

【事務事業名:食生活改善事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	体験型の講座(食のワークショップ)も継続実施し、地元の食材への興味、関心を深めていく。 また、市民の野菜不足を解消するため、積極的に野菜の摂取ができるような啓発活動を重点的に実施していく。 食生活改善推進員の活動を支援するために、平成25年度に引き続き育成事業を実施する。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄	
	10 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 健康・医療対策の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄	
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業対象は適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄		
8 /10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成25年度は、ヘルスマイトのスキルアップを目的に事業を実施したが、ヘルスマイトの人材を確保するために、養成講座に再度取り組むことが必要であり、各地域にまんべんなく人材が確保できるように検討していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				